

梶原靖元展

古唐津アスリート



2015. 10.10 SAT - 19 MON

GALLERY
うつわノート

料金後納
ゆうメール

かじはら やすもと こ からつ
梶原靖元展 古唐津アスリート

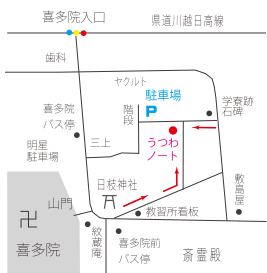
2015年10月10日(土)～19日(月) 会期中無休

営業時間 11時～18時 作家在廊日 10月10日・11日・12日

佐賀県唐津市の梶原靖元さんは1962年生まれ。桃山から江戸初期に作られた古唐津をはじめ、そのルーツである韓国や中国に及ぶ焼き物の本質を求めて作陶しています。古唐津の写しが巧みな作家は数々あれど、梶原さんのアプローチはそれとは異なります。表層を写すのではなく、かつて陶工たちが行った土作りから窯の焼き方を丹念に研究し、その基本原理に倣って当時と同様のものを再現するのです。唐津で採れる砂岩を白で砕き、蹴ろくろで形を造り、焼成はわずか数時間で一気に焼き上げます。決して複雑ではなく、当時の極めて合理的な生産方法に準じているのです。古唐津の本質は、粘土ではなく石(砂岩)であると見抜き、いち早く実践した人です。ガラス質を多く含む砂岩で作られた器は堅く焼き締り、唐津特有のさくとした肌質になります。梶原さん以前と以後で、古唐津のアプローチが変わったとさえ言われます。周囲の評価に執心することなく、自分の仮説を信じて行動で結果を生み出すこと。梶原さんの関心は、その1点にあるのです。アスリートたちは、わずかコンマ1秒の差を追求します。ほんの瞬きにも満たない時間に人生をかける。梶原さんにもアスリートと同じような追求の美学を感じるのです。本展では古唐津に限らず、韓国や中国を源流とする器が並びます。日々進化する古唐津アスリートの成果をぜひご自身の目で確かめて頂ければと思います。 店主

プロフィール

- 1962年 佐賀県伊万里市生まれ
- 1980年 有田工業高校デザイン科卒業
- 1980年 唐津焼太閤三ノ丸窯に弟子入り
- 1986年 京都 平安陶苑にてクラフトを習う
- 1989年 大丸北峰氏に師事して煎茶道具を習う
- 1995年 佐賀県唐津市和多田にて独立
- 1997年 佐賀県唐津市相知町に穴窯築窯
- 2001～14年 韓国や中国にて視察・研修・作陶を重ねる
- 2015年 現在、唐津市相知町佐里にて作陶



ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6
TEL 049-298-8715
MAIL utsuwanote@gmail.com

電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり]～[喜多院前]
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス]～[喜多院]
車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5～8番)



梶原靖元さんの古い朝鮮式の家屋と穴窯。唐津焼の起源ともいわれる飯洞築窯跡の近くであったことから飯洞築窯(はんどうかめがま)を屋号としている。